

広報モニターの声

モニターのみなさんから寄せられた議会だより誌面や議会に対するご意見を参考に、より親しみやすい議会だより、また議会になるよう努力してまいります。

141号（前号）誌面に対するご意見・ご感想

○誌面が一新され、議員の方々がどのような活動をされているか、さらにわかりやすくなりました。読めば伝わる誌面になっているので、あとは手に取って目を通したくなる一工夫ですね。

○写真が入っているのでわかりやすいです。

○誌面の大改革をされ、手に取りやすく、すっきりした誌面で読みやすかったような気がしています。文字数も表もこのぐらいの（前回より少ないですよ）方が読みやすいと感じました。変えていくのは大変な労力だったのではないかとと思いますが、必要なことだと思うので、さらに頑張っていていただきたいです。

○「新しい議会構成決まる」はわかりやすく良かった。

○常に刷新の気持ちで、村民のみなさんに読んでもらえる誌面づくりに取り組んでおられることに敬意を表します。もちろん読み手の側は大勢で年代も幅広く、多様な意見があり、すべての人に満足してもらえる内容にすることは難しいですが、少しでもより良くしようとする熱意・思いは伝わってきます。横書きにしたことで、若い世代には読みやすくなったのではないかと思います。議会構成など、字も大きくてわかりやすく、まずは目にとめてもらうということには即しているかと。

ただ、今回の選挙も全体として投票率が伸びず、若い世代の投票もまだまだ課題が残ることから、4年後に向けて、議会だよりを通じて投票率を上げる取り組みを意識的に検討されてはいかがでしょうか。例えば、若い世代向けに『ミニ議会だより』みたいなもの（マンガとか絵などを活用して）を作成してみたり、若者の投票率が高い他国の状況を紹介したりとか…。時間をかけて少しずつでも意識を変えていくことが重要だと思います。

○たいへん読みやすくなったと思います。

○今回は驚くほどに読みやすかったです。伝えたいトピックがわかりやすく、写真や図によって簡単にそれらを理解することができました。特に「定例会」のページは、これまで少し気合いを入れて読む必要がありましたが、今回は楽にスラスラ読むことができました。ただ、表紙の写真については、撮影の仕方でもう少し見栄えが良くなると思いますので、ご検討いただければと思います。

議会に対するご意見

○多くの村民は、大芝高原の将来を心配しています。村長さんと議会が知恵を出し、将来の方向性を出してほしいと思います。

○「村民の声を聴く会」が開催されたことは高く評価しています。ぜひ継続してほしい。昨年10月に私の区で開催され、私も意見を述べさせていただきました。区民と議会の距離を大変感じました。以来区民の声を直に聞きに来た議員さんは1人だけです。本当に残念でなりません！

○新しい議員さんも入り、これからもっと良い村になっていくよう頑張ってください。

- 1. 「村民の声を聴く会」は事前PRを行い、参加者を多くする必要があります。
- 2. 「請願・陳情」で最低賃金法の改正について、不採択の理由がわからない。
- 3. ほ場整備については、農家が高齢化している中、効率だけで判断はできないと思う。地域の要望を確認する必要があります。

○「村民の声を聴く会」の記事から感じたのですが、写真の掲載でわかりやすいです。各会場の人集めは大変かと思いますが、ありのままを見ることで、次回に向けての課題など地区の方たちで検討していくことができるのではと思いました。少しずつ少しずつみんなまでやっていくということが共有できる場になると思うのです。要望書もリアルでわかりやすいです。

○新型コロナワクチン接種の場所について、5回目まで大芝荘も実施していたが、6回目以降もできるようにしてほしい。大芝荘の有効活用も早めに決めてほしい。

○今年も議員花だん（大泉南の信号を西に向かって左側）にどんな花が咲くか、楽しみにしています。地域の緑化運動にも貢献、ありがとうございます。

○傾向として、農地利用についても教育や子育て等についても「未来・将来」というワードが見られました。しかし、その目指す未来（「ビジョン」）の提示は未だなされておらず、議員1人1人別のものを描いているように感じます。移住者が73.3%の村、つまり非農家が多い村だからこそ考えるべき「農業視点だけで農地利用を考えてしまって良いのか？」等のさまざまな疑問を議論することによって、村独自の「ビジョン」策定を村民と共に行うことができたなら素敵だなと思いました。

○議員のみなさん、新たなスタートお疲れ様です。初心を忘れず村民の意見が一つでも多く叶えられるよう期待しております。